

常任委員会

4つの常任委員会において、付託された議案などを審査し、26日の本会議では、各委員長が審査の経過と結果を報告しました。その内容の一部を掲載します。また、下の写真等は、各常任委員会の所管部局の事業からのものです。

総務文教委員会



30年度富山市一般会計補正予算、富山市地方活力向上地域における固定資産税の課税免除及び不均一課税に関する条例制定の件など6件については、いずれも原案のとおり「可決」した。

富山市センサーネットワーク構築事業

委員 今年度は小学校において、センサーを用いた児童の登下校時の位置データを収集する実証実験を行うとのことだが、将来的にはどのような使い方を目指しているのか。

市 例えば、徘徊する高齢者の捜索において位置情報を活用するなど、使い方にはいろいろな可能性があると考えている。今後、庁内連絡会議を立ち上げ、検討するとともに、富山大学やインフラ事業者等から構成される協議会を設置し、民間のアイデアも取り入れながら、使い方についてしっかりと検討していきたい。

反対討論 市民生活の利便性や快適性を向上させたいという思いは分かるが、どのような事業に活用できるのかがよく分からない。また、予算額も大きいことなどから賛成できない。

結果 原案のとおり可決した。

小学校調理等業務委託費

反対討論 学校給食は単なる食事ではなく、教育の一環である。その民間委託については、人件費の削減以外の目的がよく分からず、今後も市の直営でさらなる拡充を目指してほしい。

賛成討論 学校給食の民間委託により、教職員は負担が軽減されるため、教育や栄養指導という本来の業務に注力できる。また、児童・生徒数が変動した際も対応しやすい。

結果 原案のとおり可決した。

【所管部局からの報告事項】

○教育委員会

天文台の臨時休館
(天文台までの遊歩道が大雨等により陥没したため)



空調整備が始まる小中学校の普通教室等

厚生委員会



30年度富山市一般会計補正予算、富山市保育所条例の一部を改正する条例制定の件など9件については、いずれも原案のとおり「可決」した。

保育所および地域児童健全育成事業等における防犯対策機器設置

委員 市内小学校での事件を受けて、今回、市立保育所や子ども会、児童館等にさすまたや催涙スプレー等の防犯機器を配備していくが、それに加えて非常事態に備えた訓練や周知、意識啓発の実施も大事だと考えるが、どうか。

市 これまでも保育所では不審者の侵入に備えた避難訓練等を行ってきているが、今後、機器が納入される時期に合わせた形で、職員や指導員を対象としたさすまた等の使い方の講習を含めた全体の研修を行い、意識啓発等を図っていきたいと考えている。

市民病院給食業務委託に係る債務負担行為の設定

委員 今後、プロポーザルを進めるにあたっては、税収入や地元業者の育成などにも留意しながら、県内の食材を使う業者への配慮も必要だと考えるが、どうか。

市 病院給食は、患者の治療や療養の重要な一環であり、なにより栄養面や衛生管理等がしっかりできるということが重要である。また、給食業務などの現場では、人手不足の問題が深刻化しており、下処理済食材の利用などにより作業効率を向上し、従業員の負担を軽減するなどして、必要な人材を確保し、安定的に病院給食を提供するということが重要である。

一方で、地元企業が参入しやすくなることや食材の調達において極力、地元産のものを利用することも大切な視点であり、それらを総合的に勘案しながらプロポーザルの選定条件等について、今後、整理を進めたい。

【所管部局からの報告事項】

○こども家庭部

民営化対象保育所の引受法人選考の概要

○市民病院

富山通信病院の譲り受け



小中学校、幼稚園、保育所に設置される防犯カメラ設備
(設置済の施設は除く)



催涙スプレーと同時に配備される さすまた
(小中学校、幼稚園、保育所、児童館、子ども会)

商工農林水産委員会



30年度富山市一般会計補正予算、工事請負契約締結の件（第2期呉羽南部企業団地1号調整池築造工事）など3件については、いずれも原案のとおり「可決」した。

スマート農業導入可能性調査業務委託

委員 本事業は、SDGsモデル事業として、エゴマ栽培における無人自動運転トラクタやドローン等の活用研究を行うとのことだが、どのような活用方法があるのか、また、本事業の狙いは何か。

市 本事業の狙いとしては、効率的なエゴマの栽培方法の確立に向けて、労働時間の短縮などで生産コストを抑え、エゴマの収益性、経済性を高めることを考えている。

内容としては、耕起作業に無人自動運転トラクタを活用し、有人トラクタと2台同時に行うことで、人手不足の解消を図ることや、生育調査にドローンによる空撮を取り入れることで、きめ細やかな栽培管理等ができないかといったことを考えているが、詳細については、今回の調査業務の中で検討していきたい。



整備が進む小水力発電施設（常西幹線地区）④⑤



建設委員会



30年度富山市一般会計補正予算、30年度富山市水道事業会計補正予算、富山市コミュニティバス条例の一部を改正する条例制定の件など14件については、いずれも原案のとおり「可決」した。

都市基盤整備基金積立金

反対討論 都市基盤整備基金は使用の目的が限られた基金であり、今期の積み立てがなくても、約15億円の残高があることから、小中学校の普通教室にエアコンを設置するための財源確保などを考慮し、この基金への積み立てには反対である。

賛成討論 都市基盤整備は富山市政にとって大変重要な施策である。この事業は長期にわたり、かつ、年度ごとに事業費の大きな変動があることから、財政負担の平準化を図り、安定的な財政運営を行うため、基金の残高を一定程度確保することが必要である。

結果 原案のとおり可決した。

【所管部局からの報告事項】

- 上下水道局
契約金額1億5,000万円以上の工事請負契約
- 建設部
市営住宅の明渡し等の「訴えの提起の結果」



富山ライトレール・ポートルムの新車両のイメージ図
(ベースカラー：シルバーホワイト。アクセントカラー：シルバー)



大庄循環線の試行運行が開始された大山コミュニティバス